

# ミャンマーが難民をうみだす状況と、日本と韓国における 第三国定住難民支援に関するセミナーのご案内

NPO法人神戸定住外国人支援センター(KFC)では笹川平和財団の助成を受け「東アジアにおける難民の社会統合に向けた調査研究事業」を行ってきました。この度、国内情勢が揺れ動くミャンマーの状況とロヒンギャ問題についての勉強会と、これまでの調査事業の報告を兼ねたセミナーを行います。

## <概要>

日時：2021年3月30日(火)17:00-19:30

場所：オンラインZOOM

参加費：無料 定員：100名

対象：第三国定住ミャンマー難民の支援に携わっている方、第三国定住難民支援に関心のある方、ミャンマー情勢に関心のある方など、どなたでもご参加頂けます。

## セミナー次第

0	あいさつ 神戸定住外国人支援センター(KFC) 理事長 金宣吉	17:00-17:05
1	講演：ミャンマーの状況とロヒンギャ問題について 講師：フォトジャーナリスト 宇田有三氏	17:05-18:05
休憩		18:05-18:15
2	報告：神戸の第三国定住ミャンマー難民支援の成果と課題 スピーカー：神戸定住外国人支援センター(KFC) NPO部門マネージャー 志岐 良子	18:15-18:35
3	報告：名古屋の第三国定住ミャンマー難民支援の成果と課題 スピーカー：外国人ヘルプライン東海 代表 後藤 美樹氏	18:35-18:55
4	報告：韓国の第三国定住難民受け入れについて スピーカー：神戸定住外国人支援センター(KFC) 理事長 金 宣 吉	18:55-19:15
5	質疑応答	19:15-19:30

申込方法：お名前、所属、連絡先を以下のGoogleフォーム(URLまたはQRコード)からご入力ください。

<https://docs.google.com/forms/d/1eDBZNd1TSOHoTlrgejyhVUAtJP4PcIT-Tx9derkDgYk/>

申し込み締切：2021年3月23日(火)

申込み後の流れ：セミナーの一週間前にZOOMのリンクをメールでお送りさせていただきます。



## <主催・お問い合わせ>

特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター(KFC)  
〒653-0038 神戸市長田区若松町4-4-10アスタクエスタ北棟502  
TEL：078-612-2402 FAX：078-612-3052  
E-mail：[fic@tbz.t-com.ne.jp](mailto:fic@tbz.t-com.ne.jp) 担当：大石

※本セミナーは笹川平和財団の助成を受けています。

## 講師紹介



宇田有三（うだ・ゆうぞう）氏

1963年神戸市生まれ。神戸大学大学院修了（法学修士）。教員を経て渡米。中米の紛争地エルサルバドルの取材を皮切りに、東南アジアや中米諸国を中心に、軍事政権下の人びとの暮らし・先住民族・世界の貧困などの取材を続ける。ビルマ（ミャンマー）へは1993年から毎年訪問、計43回の継続取材を行う。著書に『ロヒンギャ 差別の深層』『観光コースでないミャンマー（ビルマ）』『閉ざされた国ビルマ』。写真集に "Peoples in the Winds of Change"（ミャンマーで現地出版）など。

## 第三国定住難民について

第三国定住はUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）が示している、難民問題の恒久的な3つの解決策(自主帰還、庇護国における社会統合、第三国定住)の一つで、難民キャンプ等で一時的な庇護を受けた難民が、当初庇護を求めた国から新たに受入れに合意した第三国へ移動し、新たな生活を始めることです。日本はアジア初の第三国定住による難民の受入れ国です。

### ○第三国定住ミャンマー難民

日本政府は2010年から第三国定住ミャンマー難民の受け入れを開始しました。2019年度に受け入れた第10陣までで194人が日本で定住しています。そのうち、5家族23人（1名は神戸で出生）が兵庫県神戸市で暮らしています。2019年末現在、第三国定住ミャンマー難民の第10陣までが来日しています。2010年から2014年にかけてはタイの難民キャンプから受け入れを行い、2015年から現在まではマレーシアの難民キャンプから受け入れを行っています。

難民への支援としては来日前に行う健康診断や生活オリエンテーション、日本語教育、渡航支援などの「出国前研修」、来日後に東京の研修施設で約180日間行う日本語や生活ガイダンス、就労斡旋などの「定住支援プログラム」、定住地へ移動した後に生活面の様々な支援や日本語の支援、就労支援などを行う「定住後のフォローアップ」があります。

### ○KFCの取り組み

KFCは第9陣が神戸に移住した2019年3月から家庭訪問や病院や学校、公的手続きの同行支援・助言などの生活支援を行ってきました。

また、第9陣家族を個別に重点的にフォローした日本語教室「しんさくら教室」を開いています。また、小学生の子どもについては、日本語の他に個々の学習進度に合わせた教科学習支援も行ってきました。

下表：これまでの日本の第三国定住受け入れ実績

陣	受入年度	人数	陣	受入年度	人数
第1陣	2010年度	27人(5家族)	第6陣	2015年度	19人(6家族)
第2陣	2011年度	18人(4家族)	第7陣	2016年度	18人(7家族)
第3陣	2012年度	0人(辞退)	第8陣	2017年度	29人(8家族)
第4陣	2013年度	18人(4家族)	第9陣	2018年度	22人(5家族) *神戸
第5陣	2014年度	23人(5家族)	第10陣	2019年度	20人(6家族)